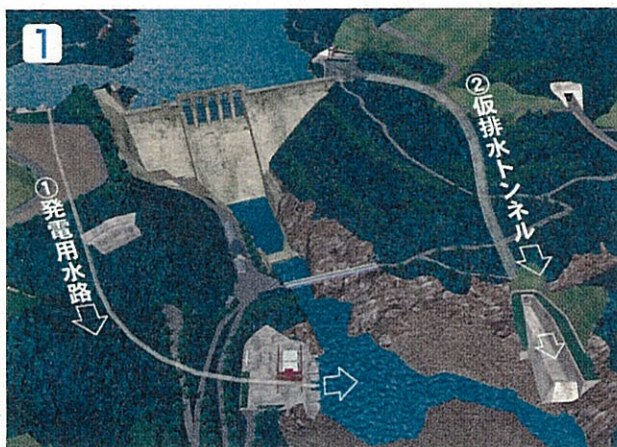


新丸山ダム建設  
**工法**

## 国内での先駆的なダム建設工法です

大河川で既設ダムの機能を維持しながら、大規模な嵩上げ工事をすることは、国内では前例がなく、設計や施工方法など、技術的に先駆的なダム建設といえます。



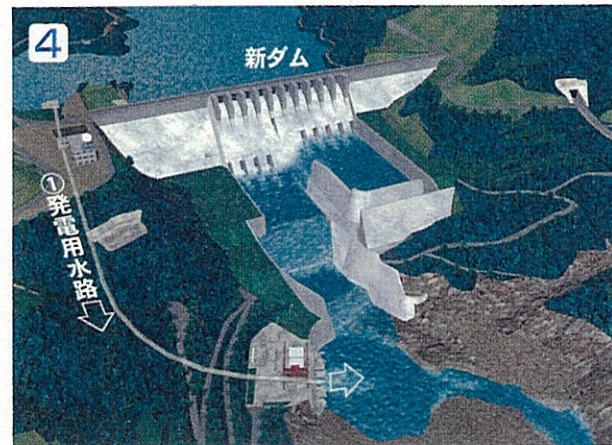
出水時に水を迂回させるための②仮排水トンネルを施工し、新ダムの形状に合わせて掘削します。



新ダムのコンクリートを順次打設していきます。出水時には、①発電用水路と②仮排水トンネルを利用して水を迂回させますが、これらで対応できない出水時には、③既設ダムのゲート操作を行い、コンクリート表面へ水を流します。



①発電用水路と②仮排水トンネルで対応できない出水時には、③既設ダムのゲート操作を行い、新ダムに設けた④堤内バイパス（空洞部）から水を流します。



新ダムが立ち上がり、ゲート操作が可能となった段階で、既設ダムの上部及びゲートを取り壊します。その後、仮排水トンネルを埋め、新丸山ダムの完成です。